

## 1 2 6 「正四面体と立方体」

易しそうで思ったより手ごわい問題

一辺が 1 の正四面体の内部で、一辺の長さが  $a$  である立方体を動かすとき、 $a$  の最大値を求めよ。  
ただし表面も内部に含むものとする。

(どうい場合が最大か予想はつくし、その場合の  $a$  も出すのは容易だが、本当にそれが最大である証明ができない。平面で三角形に内接する正方形の話と同じ手法を取ったがこれでは無理なのか?)

「正四面体の中に立方体を入れたときの最大の大きさは？」という問題。

直感的には図 1 のように、立方体の 1 面が正四面体の面（底面）に接し、立方体の中心が底面の正三角形の中心にある場合が最も大きそうだ。

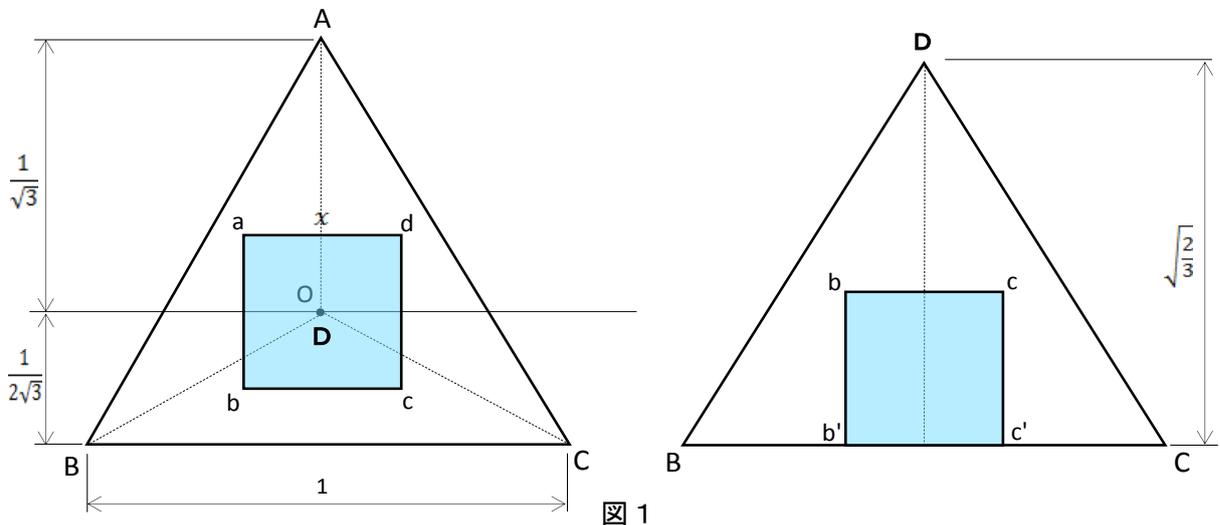


図 1

この状態で立方体の大きさを計算してみよう。

立方体の一辺  $b c$  が正四面体の斜めの面  $D B C$  に接する場合である。(図 2)

底面に対する面  $D B C$  の傾きは、 $\sqrt{\frac{2}{3}} \div \frac{1}{2\sqrt{3}} = 2\sqrt{2}$  なので、

立方体の一辺を  $x$  として、

$$\left(\frac{1}{2\sqrt{3}} - \frac{x}{2}\right) \cdot 2\sqrt{2} = x \text{ これを解いて、} x = \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}(1+\sqrt{2})} = 0.338$$

これが本当に最大値だろうか？立方体の点  $a$  と面  $D A B$ 、または点  $d$  と面  $D A C$  が接していないか？それを確認する必要がある。拡大図 (図 3) において、 $\angle P A Q = 30^\circ$  から、

$$PQ = \frac{1}{2} \left\{ \frac{1}{\sqrt{3}} - \left( \frac{x}{2} - \frac{x}{2\sqrt{3}} \right) \right\}, Pd = \frac{x}{\sqrt{3}} \text{ だから、} dQ = \frac{1}{2} \left\{ \frac{1}{\sqrt{3}} - \left( \frac{x}{2} - \frac{x}{2\sqrt{3}} \right) \right\} - \frac{x}{\sqrt{3}} \text{ となる。}$$

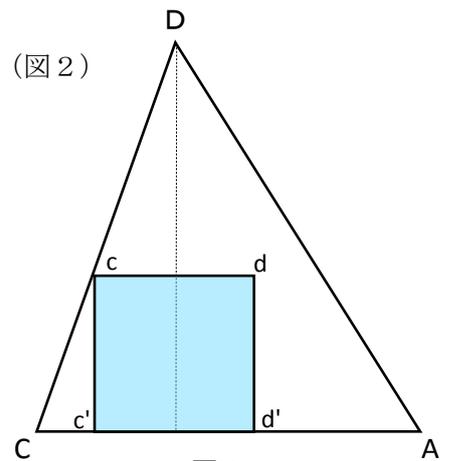


図 2

点 d が底面からの高さ  $x$  の位置で面 DAC に接していないことが必要なので、

$$\left[ \frac{1}{2} \left\{ \frac{1}{\sqrt{3}} - \left( \frac{x}{2} - \frac{x}{2\sqrt{3}} \right) \right\} - \frac{x}{\sqrt{3}} \right] \cdot 2\sqrt{2} \text{ が } x \text{ 以上であればよい。}$$

この値が  $x$  より大きければ、まだ余裕があるということになり、より大きな立方体が内接できる。

$$\left[ \frac{1}{2} \left\{ \frac{1}{\sqrt{3}} - \left( \frac{x}{2} - \frac{x}{2\sqrt{3}} \right) \right\} - \frac{x}{\sqrt{3}} \right] \cdot 2\sqrt{2} = \frac{\sqrt{6}}{3} - \frac{\sqrt{6} + \sqrt{2}}{2} x$$

$= 0.816 - 1.932x = 0.816 - 1.932 \times 0.338 = 0.163 < 0.338$  となり  $x$  以下なので、点 a と面 OAB、及び点 d と面 OAC は接していることになり、一辺 0.338 の立方体は大きすぎて内接することができない。やはり直感ではだめで、より詳細な検討が必要である。

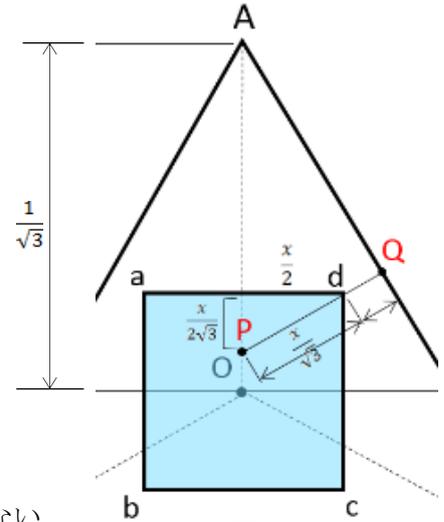
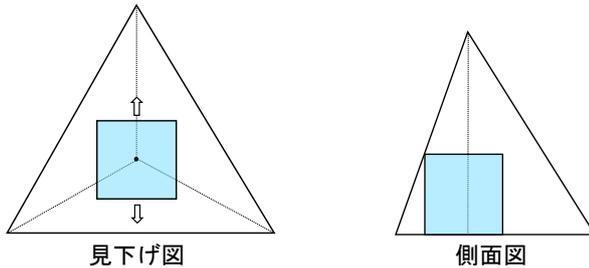


図 3

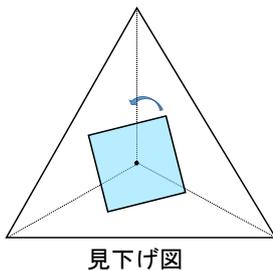
検討すべきことを整理する。

図 1 に示す状態を基本位置とし、それからどのように変化させるかを示す。

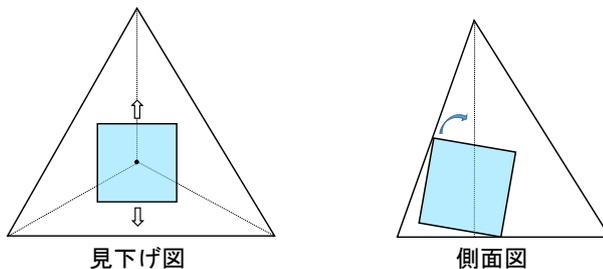
- (1) 立方体の一面が正四面体の一面（底面とする）に接した状態で、底面の正三角形の軸線に沿って上下に動かす



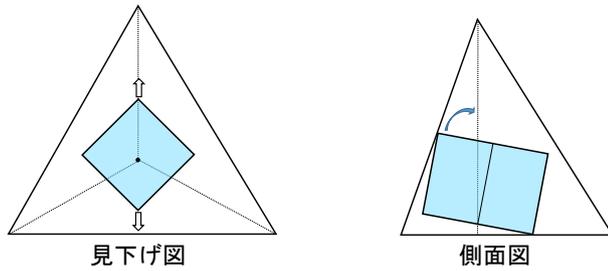
- (2) (1) の状態から反時計回りに回転させる



- (3) (1) の状態から立方体の一辺が底面に接した状態で傾斜させる



(4) (1) の状態から立方体を  $90^\circ$  回転させ、立方体の角が底面に接した状態で傾斜させる



この他にもいくつか状態が考えられるが、立方体が全く正四面体に接することなく宙に浮いている状態などを含め、いずれも不利なので検討対象から除外する。

(1) 立方体の一面が正四面体の底面に接した状態で、底面の正三角形の軸線に沿って上下に動かす  
1 辺  $x$  の立方体を中心線に沿って、下に  $y$  だけ移動した場合を考える。

面  $DBC$  に接近する部分の式

$$\left(\frac{1}{2\sqrt{3}} - \frac{x}{2} - y\right) \cdot 2\sqrt{2} = x \quad \text{-----①}$$

面  $DAC$  に接近する部分の式 (図 3 の検討により)

$$\left[\frac{1}{2} \left\{ \left( \frac{1}{\sqrt{3}} - \frac{x}{2} + y \right) + \frac{x}{2\sqrt{3}} \right\} - \frac{x}{\sqrt{3}}\right] \cdot 2\sqrt{2} = x \quad \text{-----②}$$

①②の連立方程式を解いて、

$$x = \frac{6}{6 + 4\sqrt{3} + 3\sqrt{6}} = 0.2959, \quad y = \frac{\sqrt{3} - 1}{6 + 4\sqrt{3} + 3\sqrt{6}} = 0.0361$$

以上より、下に 0.0361 だけ移動した場合、  
立方体の一辺は 0.2959 という結果が得られた。

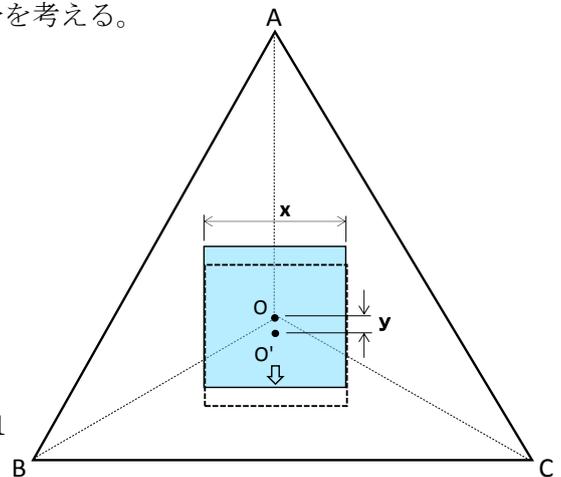


図 4

(2) 下方向に動かし、さらに回転させる

1 辺  $x$  の立方体を中心線に沿って下に  $y$  だけ移動し、角度  $\theta(\text{rad})$  回転

させた場合を考える。ただし、 $\theta = \frac{\pi}{6}$  ( $30^\circ$ ) 以上回転させると立方体

の辺  $c$   $d$  が正四面体の面  $DAC$  に平行になるので、 $0 < \theta \leq \frac{\pi}{6}$  とする。

中心  $O$  を原点とする  $X-Y-Z$  3次元座標において、面  $DAB$ ,  $DAC$ ,  $DBC$  に接近する  $a$ ,  $b$ ,  $d$  の座標は次のように表せる。

$$a \left(-\frac{x}{2}, \frac{x}{2}, x\right), \quad b \left(-\frac{x}{2}, -\frac{x}{2}, x\right), \quad d \left(\frac{x}{2}, \frac{x}{2}, x\right)$$

立方体を反時計方向に  $\theta$  回転させ、下方向に  $y$  平行移動したときの  $a$ ,  $b$ ,  $d$  の座標は次のように表される。

$$a \left[ (-\cos\theta - \sin\theta) \frac{x}{2}, (\cos\theta - \sin\theta) \frac{x}{2} + y, x \right]$$

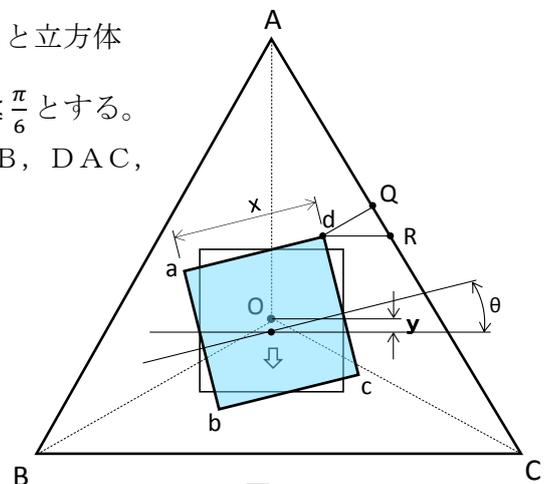


図 5

$$b \left[ (-\cos \theta + \sin \theta) \frac{x}{2}, (-\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} + y, x \right]$$

$$d \left[ (\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2}, (\cos \theta + \sin \theta) \frac{x}{2} + y, x \right]$$

点 a について、面 D A B との距離は次のように表せる。

面 D A B は、X, Y, Z 軸と  $\left(\frac{1}{3}, 0, 0\right)$ ,  $\left(0, \frac{1}{\sqrt{3}}, 0\right)$ ,  $\left(0, 0, \sqrt{\frac{2}{3}}\right)$  と交差するので、

$-3X + \sqrt{3}Y + \sqrt{\frac{3}{2}}Z = 1$  と表され、点と平面の距離の式より、

$$\text{点 a と面 D A B 距離} = \frac{\left| -3(-\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} + \sqrt{3} \left[ (\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} + y \right] + \sqrt{\frac{3}{2}} x - 1 \right|}{\sqrt{\left( (-3)^2 + \sqrt{3}^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}^2 \right)}} \quad \text{-----③}$$

同様に b, d の各点について、面 D B C, D A C との距離は、

$$\text{点 b と面 D B C の距離} = \frac{\left| -2\sqrt{3}(-\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} - 2\sqrt{3}y + \sqrt{\frac{3}{2}} x - 1 \right|}{\sqrt{\left( (2\sqrt{3})^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}^2 \right)}} \quad \text{-----④}$$

$$\text{点 d と面 D A C の距離} = \frac{\left| 3(\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} + \sqrt{3} \left[ (\cos \theta + \sin \theta) \frac{x}{2} + y \right] + \sqrt{\frac{3}{2}} x - 1 \right|}{\sqrt{\left( 3^2 + \sqrt{3}^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}^2 \right)}} \quad \text{-----⑤}$$

点 a, b, d がそれぞれの面に接する（距離が 0 となる） $x, y, \theta$  は、③④⑤を解くことで求められる。  
変形すると、

$$\left| -3(-\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} + \sqrt{3} \left[ (\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} + y \right] + \sqrt{\frac{3}{2}} x - 1 \right| = 0 \quad \text{-----⑥}$$

$$\left| -2\sqrt{3}(-\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} - 2\sqrt{3}y + \sqrt{\frac{3}{2}} x - 1 \right| = 0 \quad \text{-----⑦}$$

$$\left| 3(\cos \theta - \sin \theta) \frac{x}{2} + \sqrt{3} \left[ (\cos \theta + \sin \theta) \frac{x}{2} + y \right] + \sqrt{\frac{3}{2}} x - 1 \right| = 0 \quad \text{-----⑧}$$

これを解いて、

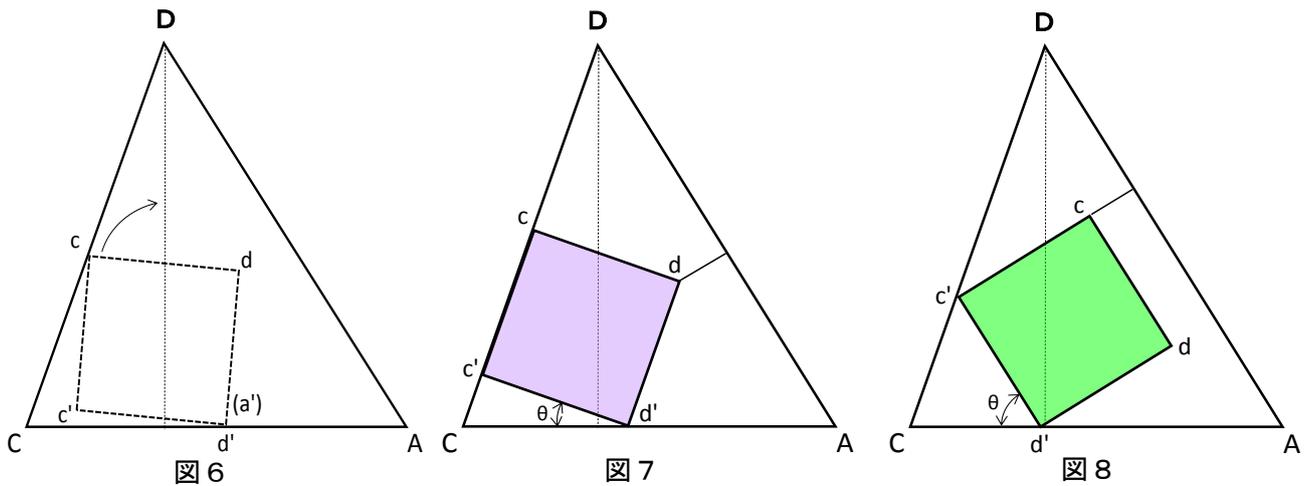
$$x = \frac{6}{6 + 4\sqrt{3} + 3\sqrt{6}} = 0.2959, \quad y = \frac{\sqrt{3} - 1}{6 + 4\sqrt{3} + 3\sqrt{6}} = 0.0361, \quad \theta = 0 \text{ が得られるが、これは(1)で求め}$$

た結果と同じである。このことから、立方体の1つの面が正四面体の1つの面に接した状態で回転させても、立方体の大きさを大きくすることには繋がらないことがわかった。

(3) (1) の状態から立方体の一辺が底面に接した状態で傾斜させる

図2の位置から、図6に示すように立方体の1辺  $a'd'$  を正四面体の底面に接した状態で傾斜させた場合を考える。徐々に角度を増していくと、図7のように立方体の1面が面  $DBC$  に接した状態となり、さらに傾斜させていくと、図8のように立方体の面  $abcd$  が、正四面体の1辺  $DA$  に平行になる。

図6から図8の状態において、立方体の大きさがどこまで大きくできるかを考える。



$\theta$  を変化させたとき、図7の位置における立方体の傾きは、 $\theta = \frac{\pi}{2} - \tan^{-1}(2\sqrt{2}) = 19.47^\circ$

図8の位置における傾きは、 $\theta = \tan^{-1}(\sqrt{2}) = 54.74^\circ$  である。

$0 < \theta \leq 19.47^\circ$  及び、 $19.47^\circ < \theta \leq 54.74^\circ$  の範囲で点  $d$  と正四面体との距離を調べる。

$0 < \theta \leq 19.47^\circ$  における点  $d$  と面  $DAC$  の距離について、

点  $d$  の座標は、 $\left[ \frac{x}{2}, x \left\{ \frac{1}{2\sqrt{2}}(\sin \theta + \cos \theta) + \cos \theta \right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}, x \cos \theta \right]$  と表せるので、

面  $DAC$  の式  $3X + \sqrt{3}Y + \sqrt{\frac{3}{2}}Z = 1$  より、

$$\text{点 } d \text{ と面 } DAC \text{ の距離} = \frac{\left| 3\left(\frac{x}{2}\right) + \sqrt{3}\left[x\left\{\frac{1}{2\sqrt{2}}(\sin \theta + \cos \theta) + \cos \theta\right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x \cos \theta - 1 \right|}{\sqrt{3^2 + \sqrt{3}^2 + \left(\sqrt{\frac{3}{2}}\right)^2}} \quad \text{-----⑨}$$

$19.47^\circ < \theta \leq 54.74^\circ$  における点  $d$  と面  $DAC$  の距離

点  $d$  の座標は、 $\left[ \frac{x}{2}, x \left\{ \frac{1}{2\sqrt{2}} \sin \theta + \sin \theta + \cos \theta \right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}, x \cos \theta \right]$  と表せるので、-----⑩

$$\text{点 } d \text{ と面 } DAC \text{ の距離} = \frac{\left| 3\left(\frac{x}{2}\right) + \sqrt{3}\left[x\left\{\frac{1}{2\sqrt{2}}\sin\theta + \sin\theta + \cos\theta\right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x\cos\theta - 1 \right|}{\sqrt{3^2 + \sqrt{3}^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}^2}}$$

⑨⑩式において  $x$  を固定した場合、離隔距離は  $\theta$  の関数で与えられ、最大となる  $\theta$  は⑨⑩を微分して 0 と置くことで求められる。

⑨の  $\theta$  に関する部分のみ取り出して、

$$\sqrt{3}x\left[\frac{1}{2\sqrt{2}}(\sin\theta + \cos\theta) + \cos\theta\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x\cos\theta = \sqrt{3}x\left[\frac{1}{2\sqrt{2}}\sin\theta + \left(1 + \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\cos\theta\right]$$

これを微分して 0 とおき解くと、 $\frac{1}{2\sqrt{2}}\cos\theta - \left(1 + \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\sin\theta = 0$  これから、

$$\tan\theta = \frac{\frac{1}{2\sqrt{2}}}{1 + \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{2\sqrt{2}}} = \frac{1}{3 + 2\sqrt{2}} = 0.1716, \quad \theta = 0.1699(\text{rad}) = 9.74^\circ \text{ となる。}$$

よって  $\sin\theta = \frac{1}{\sqrt{6}\sqrt{3+2\sqrt{2}}}$ ,  $\cos\theta = \frac{3+2\sqrt{2}}{\sqrt{6}\sqrt{3+2\sqrt{2}}}$ 、この値を⑨に入れて距離が 0 となる  $x$  を求めると

$$\left[\frac{3}{2} + \sqrt{3}\left[\left\{\frac{1}{2\sqrt{2}}\frac{1}{\sqrt{6}\sqrt{3+2\sqrt{2}}} + \left(1 + \frac{1}{\sqrt{2}} + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\frac{3+2\sqrt{2}}{\sqrt{6}\sqrt{3+2\sqrt{2}}}\right\}\right]\right]x = \frac{3}{2} \text{ より、} x = \frac{1}{2 + \sqrt{2}} = 0.2929$$

⑩についても同様に、

$$\sqrt{3}x\left[\frac{1}{2\sqrt{2}}\sin\theta + \sin\theta + \cos\theta\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x\cos\theta = \sqrt{3}x\left[\left(1 + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\sin\theta + \left(1 + \frac{1}{\sqrt{2}}\right)\cos\theta\right]$$

これを微分して 0 とおき、 $\left(1 + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\cos\theta - \left(1 + \frac{1}{\sqrt{2}}\right)\sin\theta = 0$  これを解いて、

$$\tan\theta = \frac{1 + \frac{1}{2\sqrt{2}}}{1 + \frac{1}{\sqrt{2}}} = \frac{3 - \sqrt{2}}{2} = 0.7929, \quad \theta = 0.6704(\text{rad}) = 38.41^\circ \text{ となる。}$$

よって  $\sin\theta = \frac{3 - \sqrt{2}}{\sqrt{3}\sqrt{5 - 2\sqrt{2}}}$ ,  $\cos\theta = \frac{2}{\sqrt{3}\sqrt{5 - 2\sqrt{2}}}$ 、この値を⑩に入れて距離が 0 となる  $x$  を求めると

$$\left[\frac{3}{2} + \sqrt{3}x\left[\left(1 + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\frac{3 - \sqrt{2}}{\sqrt{3}\sqrt{5 - 2\sqrt{2}}} + \left(1 + \frac{1}{\sqrt{2}}\right)\frac{2}{\sqrt{3}\sqrt{5 - 2\sqrt{2}}}\right]\right] = \frac{3}{2} \text{ より、} x = \frac{2\sqrt{5 - 2\sqrt{2}}}{6 + \sqrt{2} + 2\sqrt{5 - 2\sqrt{2}}}$$

= 0.2844

次に図 8 点 c について、面 DAC との距離はどうだろうか？

$\sin\theta = \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$ ,  $\cos\theta = \frac{1}{\sqrt{3}}$  から、点 c の座標は、 $\left[\frac{x}{2}, x\left(1 + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}} - \frac{1}{2\sqrt{3}}, x\left(\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}} + \frac{1}{\sqrt{3}}\right)\right]$  と表せる。

点c と面DACの距離 = 
$$\frac{\left| 3\left(\frac{x}{2}\right) + \sqrt{3}\left[x\left(1 + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}} - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x\left(\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}} + \frac{1}{\sqrt{3}}\right) - 1 \right|}{\sqrt{3^2 + \sqrt{3}^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}^2}} \dots\dots\dots ⑪$$

$$3\left(\frac{x}{2}\right) + \sqrt{3}\left[x\left(1 + \frac{1}{2\sqrt{2}}\right)\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}} - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x\left(\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}} + \frac{1}{\sqrt{3}}\right) - 1 = 0$$
 を解いて  $x$  を求めると、

$$x = \frac{1}{2 + \sqrt{2}} = 0.2929$$
 これは⑨の結果と同じであり、点c と点d の面DAC との距離は等しい。

(4) (1) の状態から立方体を  $90^\circ$  回転させた場合

正四面体の点A と立方体の点a が一致する方向となり条件が良さそうだ。

面DBC に立方体の点c が接した状態であるから次式が成り立つ。

$$\frac{x}{2\sqrt{2}} + \frac{x}{\sqrt{2}} + y = \frac{1}{2\sqrt{3}} \dots\dots\dots ⑫$$

点d の座標  $\left(\frac{x}{\sqrt{2}}, -y, x\right)$  から、点d と面DAC の距離は、

$$\frac{\left| 3\left(\frac{x}{\sqrt{2}}\right) + \sqrt{3}(-y) + \sqrt{\frac{3}{2}}x - 1 \right|}{\sqrt{\left(3^2 + \sqrt{3}^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}^2\right)}}$$
 と表され、

点d が面DAC と接する条件から次式が成り立つ。

$$3\left(\frac{x}{\sqrt{2}}\right) + \sqrt{3}(-y) + \sqrt{\frac{3}{2}}x - 1 = 0 \dots\dots\dots ⑬$$

⑫⑬を解いて、 $x = \frac{3\sqrt{2}}{6 + 5\sqrt{3}} = 0.2894$ ,  $y = \frac{9}{13} - \frac{16}{13\sqrt{3}} = -0.0183$

$y$  がマイナスなので、上方向に動かすことを示している。

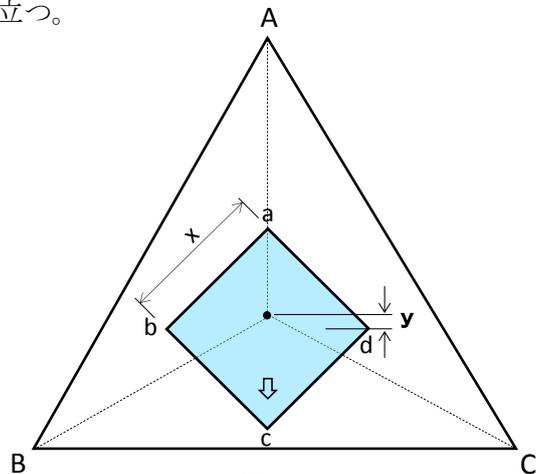


図9

次に、立方体の一辺が底面に接した状態で傾斜させた場合を考える。

傾斜角度を  $\theta$  とし (3) と同じように、 $0 < \theta \leq 19.47^\circ$  及び、 $19.47^\circ < \theta \leq 54.74^\circ$  の範囲で点d と正四面体との距離を調べる。

$0 < \theta \leq 19.47^\circ$  における点d と面DAC の距離について、点d の座標は、

$$\left[ \frac{x}{\sqrt{2}}, x\left\{\frac{1}{2}\sin\theta + \frac{3}{2\sqrt{2}}\cos\theta\right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}, x\left(\frac{1}{\sqrt{2}}\sin\theta + \cos\theta\right) \right]$$

と表せるので、面DAC の式  $3X + \sqrt{3}Y + \sqrt{\frac{3}{2}}Z = 1$  より、

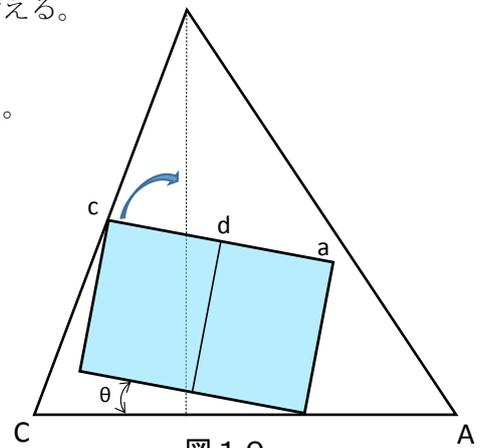


図10

$$\text{点 d と面 D A C の距離} = \frac{\left| 3\left(\frac{x}{\sqrt{2}}\right) + \sqrt{3}\left[x\left\{\frac{1}{2}\sin\theta + \frac{3}{2\sqrt{2}}\cos\theta\right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x\left(\frac{1}{\sqrt{2}}\sin\theta + \cos\theta\right) - 1 \right|}{\sqrt{\left(3^2 + \sqrt{3}^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}^2\right)}} \dots\dots\dots\text{⑭}$$

⑭は  $0 < \theta \leq 19.47^\circ$  の間で  $\theta$  に関して単純増加関数であり、 $\theta = 19.47^\circ$  のとき最大となる。

このとき  $\tan\theta = \frac{1}{2\sqrt{2}}(19.47^\circ)$ ,  $\sin\theta = \frac{1}{3}$ ,  $\cos\theta = \frac{2\sqrt{2}}{3}$  より、

$$3\left(\frac{x}{\sqrt{2}}\right) + \sqrt{3}\left[x\left(\frac{1}{2}\frac{1}{3} + \frac{3}{2\sqrt{2}}\frac{2\sqrt{2}}{3}\right) - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x\left(\frac{1}{\sqrt{2}}\frac{1}{3} + \frac{2\sqrt{2}}{3}\right) - 1 = 0$$

$$\text{これを解いて } x = \frac{3}{3\sqrt{2} + 4\sqrt{3}} = 0.2686$$

$19.47^\circ < \theta \leq 54.74^\circ$  における点 d と面 D A C の距離

点 d の座標は、 $\left[\frac{x}{\sqrt{2}}, x\left\{\frac{3}{2}\sin\theta + \frac{1}{\sqrt{2}}\cos\theta\right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}, x\left(\frac{1}{\sqrt{2}}\sin\theta + \cos\theta\right)\right]$  と表せるので、

$$\text{点 d と面 D A C の距離} = \frac{\left| 3\left(\frac{x}{\sqrt{2}}\right) + \sqrt{3}\left[x\left\{\frac{3}{2}\sin\theta + \frac{1}{\sqrt{2}}\cos\theta\right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}x\left(\frac{1}{\sqrt{2}}\sin\theta + \cos\theta\right) - 1 \right|}{\sqrt{\left(3^2 + \sqrt{3}^2 + \sqrt{\frac{3}{2}}^2\right)}} \dots\dots\dots\text{⑮}$$

⑮の  $\theta$  に関する部分のみ取り出して、微分して 0 とおくと

$\sqrt{6}\sin\theta = 2\sqrt{3}\cos\theta$  より、 $\tan\theta = \sqrt{2}(54.74^\circ)$  これは、ちょうど立方体の面 a b c d が、正四面体の一辺 DA に平行になる時に一致する。

$\sin\theta = \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$ ,  $\cos\theta = \frac{1}{\sqrt{3}}$  を⑮分子に入れて、

$$3\left(\frac{x}{\sqrt{2}}\right) + \sqrt{3}\left[x\left\{\frac{3\sqrt{2}}{2\sqrt{3}} + \frac{1}{\sqrt{2}}\frac{1}{\sqrt{3}}\right\} - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}\left(\frac{1}{\sqrt{2}}\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}} + \frac{1}{\sqrt{3}}\right)x - 1 = 0$$

$$\text{これを解いて } x = \frac{1}{3\sqrt{2}} = 0.2357$$

最後に傾き  $\theta = 54.74^\circ$  のとき図 10 の点 c について面 D A C との距離はどうなるのか？

点 c の座標は

$$\left[\frac{x}{\sqrt{2}}, \left(\frac{3}{2}\sin\theta + \sqrt{2}\cos\theta\right)x - \frac{1}{2\sqrt{3}}, x\cos\theta\right] = \left[\frac{x}{\sqrt{2}}, \left(\frac{3}{2}\sqrt{\frac{2}{3}} + \sqrt{2}\frac{1}{\sqrt{3}}\right)x - \frac{1}{2\sqrt{3}}, \frac{1}{\sqrt{3}}x\right] \text{ と表せる。}$$

$\sin\theta = \frac{\sqrt{2}}{\sqrt{3}}$ ,  $\cos\theta = \frac{1}{\sqrt{3}}$  を入れて、

$$3\left(\frac{x}{\sqrt{2}}\right) + \sqrt{3}\left[\left(\frac{3\sqrt{2}}{2\sqrt{3}} + \sqrt{2}\frac{1}{\sqrt{3}}\right)x - \frac{1}{2\sqrt{3}}\right] + \sqrt{\frac{3}{2}}\frac{1}{\sqrt{3}}x - 1 = 0 \text{ を解いて、} x = \frac{1}{3\sqrt{2}} = 0.2357$$

よって、点 c, d は立方体の一辺の長さが 0.2357 のとき、面 DAC に同時に接している。

ここまでの結果を整理して表にまとめると以下のとおりである。

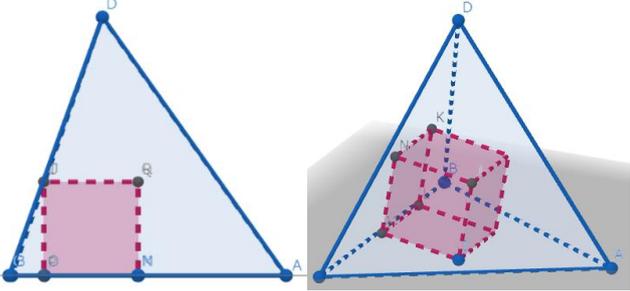
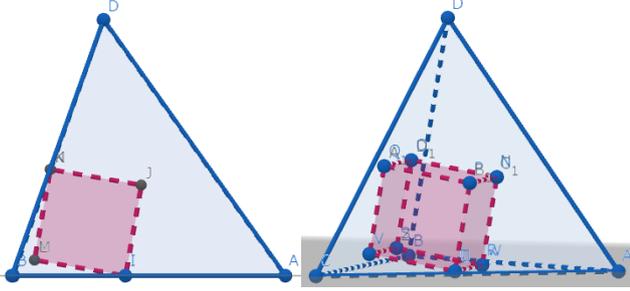
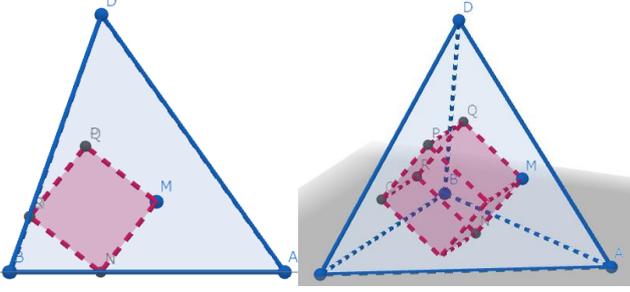
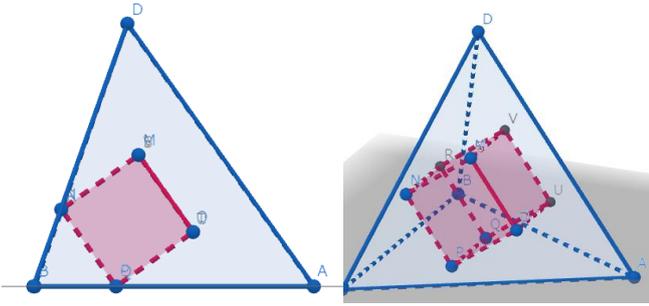
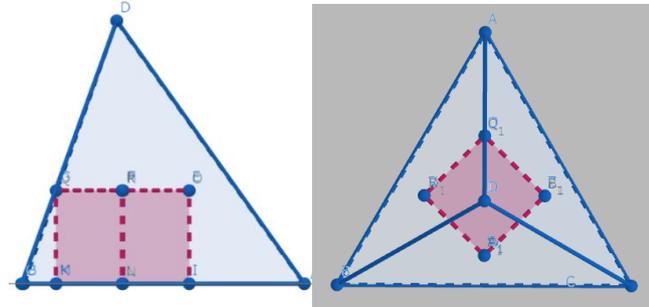
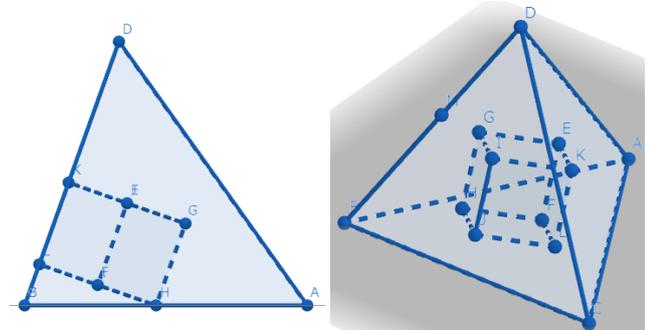
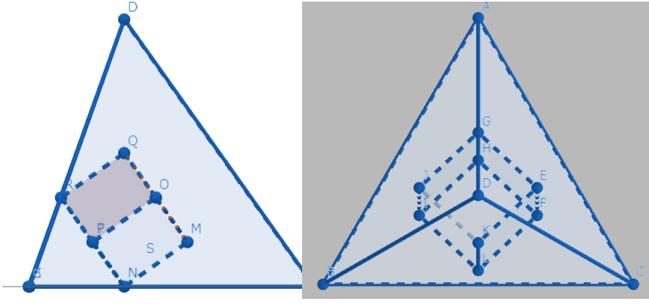
図	立方体の中心座標	1 辺の長さ 内接正方形の体積比
	$X : 0$ $Y : -\frac{\sqrt{3}-1}{6+4\sqrt{3}+3\sqrt{6}}$ $(-0.0361)$ $Z : \frac{3}{6+4\sqrt{3}+3\sqrt{6}}$ $(0.1480)$	$\frac{6}{6+4\sqrt{3}+3\sqrt{6}}$ $(0.2959)$ <p>体積比 21.98 %</p>
	$X : 0$ $Y : -\frac{3\sqrt{3}-2\sqrt{6}}{12}$ $(-0.0248)$ $Z : \frac{1}{\sqrt{6}\sqrt{3}+2\sqrt{2}}$ $(0.1480)$	$\frac{1}{2+\sqrt{2}}$ $(0.2929)$ <p>傾き <math>\tan^{-1}\left(\frac{1}{3+2\sqrt{2}}\right)</math></p> $(9.74^\circ)$ <p>体積比 21.32 %</p>
	$X : 0$ $Y : -\frac{\sqrt{5-2\sqrt{2}}-1}{\sqrt{3}(6+\sqrt{2}+2\sqrt{5-2\sqrt{2}})}$ $(-0.0264)$ $Z : \frac{5-\sqrt{2}}{\sqrt{3}(6+\sqrt{2}+2\sqrt{5-2\sqrt{2}})}$ $(0.1998)$	$\frac{2\sqrt{5-2\sqrt{2}}}{6+\sqrt{2}+2\sqrt{5-2\sqrt{2}}}$ $(0.2844)$ <p>傾き <math>\tan^{-1}\left(\frac{3-\sqrt{2}}{2}\right)</math></p> $(38.41^\circ)$ <p>体積比 19.52 %</p>

図	立方体の中心座標	1辺の長さ
	X : 0 Y : $\frac{1}{2\sqrt{3}}$ (0.2887) Z : $\frac{1}{2\sqrt{6}}$ (0.2041)	$\frac{1}{2 + \sqrt{2}}$ (0.2929) 傾き $\tan^{-1}(\sqrt{2})$ (54.74°) 体積比 21.32%
	X : 0 Y : $\frac{9}{13} - \frac{16}{13\sqrt{3}}$ (-0.0183) Z : $\frac{3\sqrt{2}}{2(6 + 5\sqrt{3})}$ (0.1447)	$\frac{3\sqrt{2}}{6 + 5\sqrt{3}}$ (0.2894) 体積比 20.57%
	X : 0 Y : $1 - \frac{1}{2\sqrt{3}}$ (0.7113) Z : $\frac{1}{\sqrt{2}}$ (0.7071)	$\frac{3}{3\sqrt{2} + 4\sqrt{3}}$ (0.2686) 傾き $\tan^{-1}\left(\frac{1}{2\sqrt{2}}\right)$ (19.47°) 体積比 16.44%
	X : 0 Y : $\frac{\sqrt{6} - \sqrt{2}}{2}$ (0.5176) Z : $\frac{\sqrt{3}}{2}$ (0.8660)	$\frac{1}{3\sqrt{2}}$ (0.2357) 傾き $\tan^{-1}(\sqrt{2})$ (54.74°) 体積比 11.11%

一辺の長さ1の正四面体の内部で可能な、最大立方体の一辺の大きさは図4に示すように、

$$\frac{6}{6 + 4\sqrt{3} + 3\sqrt{6}} (= 0.2959) \text{ という結論となった。}$$

一辺1の正四面体の体積は  $\frac{\sqrt{2}}{12}$  であるから、内接最大立方体との体積比は  $0.2959^3 \div \frac{\sqrt{2}}{12} = 0.2198$

正四面体に内接する球の体積は、内接球の半径  $r = \frac{\sqrt{6}}{12}$  から  $\frac{4\pi}{3} \left(\frac{\sqrt{6}}{12}\right)^3 = 0.0356$  なので、

内接立方体との体積比は  $0.2959^3 \div 0.0356 = 0.7272$  となり、内接球の方が体積が大きい。

私としては、図7、図8や図10のように傾けた時に最大になることを期待していたが、結果は比較的平凡なものだった。正四面体内に立方体を内接させた時、一辺が最大となりそうな配置として考え得るケースを網羅したので、解答としては正しと思うが証明としてはまだ不十分である。

(2022.03.25)